

今月の

5冊



こころの扉が開く ひきこもり状態にある 本人と家族への訪問支援

船越明子、斎藤まさ子=著

発行：医学書院

定価：2750円（本体2500円＋税10%）

ひきこもり支援の要となる「訪問支援」に焦点を当てた一冊。中心的な手法でありながら、具体的なノウハウが体系化されてこなかった訪問支援について、どのような段階を踏まえて、どのように訪問支援を行っていけば効果的なのか。熟練支援者が持つ暗黙知を「7ステップ」として再構築し、提示する。ひきこもり支援の質を底上げする、画期的な手引書。

家で生ききる。

最期まで在宅で。訪問看護18のストーリー

株式会社デザインケア・

みんなのかかりつけ訪問看護ステーション=編

発行：池田書店

定価：2420円（本体2200円＋税10%）



本書は、訪問看護の現場で働く看護師・セラピストたちが、いかに専門性を発揮し、利用者の希望をかなえる実践を成し遂げたのか、その一連を細やかに紹介する。個々の事例に徹底的に寄り添ったエピソードだけでなく、「この症例のポイント」や「症例からの学びポイントと解説」など、まだ見ぬ利用者にも活かせる実践の知恵が充実！

終末期・看取り期におけるコミュニケーション 患者と家族に寄り添う「声かけ」と「対応」

平方眞=著

発行：中央法規出版

定価：2640円（2400円＋税10%）



病院や施設に勤務する看護師が苦手意識を持ちがちな、終末期・看取り期における患者とその家族とのコミュニケーション。本書では、4000人以上を看取ってきた著者が、その重要性を解説するとともに、30の場面を取り上げ、ありがちな対応と問題点を示し、ポイントを解説する。会話例も掲載し、今日から使える内容となっている。

きれいごとと抜きの対人援助術

カスガ先生、この「詰んだ」状況どうすればいいですか？

春日武彦=著

発行：中央法規出版

定価：1980円（1800円＋税10%）



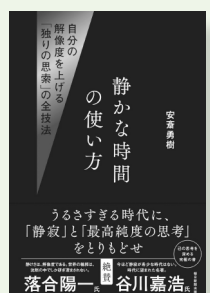
対人援助の現場で戸惑いや無力感を覚える人は少なくない。そうした「現場の詰んだ状況」で奮闘する対人援助職に向けて精神科医の著者が提示するのは、きれいごとと抜きの「戦略的護身術」だ。100点満点の解決を目指すわけではない援助の世界で落としどころを探り、自身の心を守るための戦略的護身術など、具体的な方法を伝える。

自分の解像度を上げる「独りの思索」の全技法 静かな時間の使い方

安斎勇樹=著

発行：朝日新聞出版

定価：1760円（本体1600円＋税10%）



つながりや情報に翻弄されがちな現代において最も重要なのは、独りきりの「静かな時間」を確保し、いかに内面の深くまで潜って思考できるかということ。特に「感情」「技術」「興味」のリフレクションは、己の思考や人生の軸を定めるための強力な手段になる。静かな時間に思索を深めてきた著者が、己の思考を深める技法を提案する。